

「港湾労働安全強調期間（7月～9月）」に発生した死亡災害（会員事業場）

参考

－ 平成21年以降 －

会員事業場において「港湾労働安全強調期間（7月～9月）」に死亡災害は、平成21年以降、下表のとおり発生し19人が亡くなっています。

－平成23年以降の死亡災害については、協会ホームページの中の「災害事例検索 versionⅢ」から、より詳細な情報を得ることができます－

発生年	発生場所	年齢	雇用形態	職種	事故の型	起因物	概要
H29	倉庫土場	55歳	常用	作業	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	荷役作業に伴うトレーラー等の車両の誘導業務を行っていた被災者が、待機中の移動式クレーンに構内へ進入するよう伝えに行った後、荷降ろしのために向きを変えようと旋回していたフォークリフトの後部と接触し、倒れたところを当該フォークリフトの後輪でひかれた。
R7	荷捌き場	18歳	常用	手元作業	激突され	フォークリフト	出庫作業のため、作業場に移動することになり、同僚が運転する16tフォークリフトに同乗して移動中の手元作業であった被災者が、何かの理由で降車したところ、フォークリフトの左後輪にひかれた。
R7	荷捌き場	33歳	常用	作業	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフト	被災者は、荷捌き場において、伝票をトラック運転手に渡す際、後進してきたフォークリフトにひかれた。
H25	本船デッキ	48歳	日雇	作業	はさまれ、巻き込まれ	揚貨装置	岸壁に仮置きしていたコンテナ(40ft実入り22t)を揚貨装置でデッキのツイストコーン上に積み戻す作業中、本船の揺れと途上のスタクションで引っ掛かりが外れた反動でコンテナが振れ、被災者がオイルタンクとの間にはさまれた。
H25	はしけ	50歳	常用	玉掛け	はさまれ、巻き込まれ	揚貨装置	本船揚貨装置を使い、はしけ上にあるコイル(直径約1.3m、重量約8t)2個を運搬するため玉掛けを行い、地切りしたところ、コイルが振れ、被災者がコイルとはしけ壁面の間にはさまれた。
H26	本船デッキ	42歳	日雇	作業	激突され	揚貨装置	船倉から原木(長さ約12m、直径約70cm、重量約2t)を揚貨装置により荷揚げ作業中、約10本の原木をクラブバケットでつかみ巻き上げたところ、原木が回転したため、船倉上部で合図を行っていた被災者に原木の端が当たった。
H30	内航船船倉内	21歳	常用	玉掛け	飛来、落下	移動式クレーン	ふ頭に接岸した内航船の船倉で、岸壁に設置したクローラークレーン(吊上げ過重150t)を用いて7本組に結束したH形鋼(1本：長さ約6m、重量約84kg)を3束にまとめて荷揚げ作業中、吊り上げていた鋼材が落下し、吊荷の下にいた被災者に当たった。
R7	船倉内	73歳	日雇	船内荷役作業主任者	激突され	移動式クレーン	接岸した本船船倉内で、クローラークレーンを用いてフレコンバグの荷降ろし作業の作業指揮をしていた被災者が、荷の巻き上げ合図を出した後、船倉のフレコンバグの隙間に落下し、頭部から血を流している状態で発見された。
H22	接岸本船	57歳	常用	ラッシャー	墜落、転落	荷姿のもの	接岸本船において、高さ約3.4mに積み付けた鋼管の上に登りロープで固縛する準備作業中、5段目から7段目のパイプが荷崩れを起こし、被災者がパイプとともに転落した。
R7	コンテナヤード	41歳	常用	運転者	飛来、落下	荷姿のもの	突発的な強風によりコンテナヤードに5段積みされていた空のコンテナ6個が崩落し、そのうち1個が近くのサイドリフターのヘッドガードの上に落ち、運転席にいた被災者が死亡した。
H21	本船ハッチ	66歳	常用	玉掛け	おぼれ	その他の乗物	2番ハッチの原木水切り作業中、吊り荷から大きくはみ出していた1本の原木を抜き取り降ろした際、当該原木が転がり始めた。玉掛けのため、荷の原木上で待機していた被災者は当該原木を避けようとデッキ上の歯止め用鋼製スタクションのほうに逃げたが、勢い余って本船と岸壁の間から約13m下の海に墜落した。
H30	石炭船積岸壁	60歳	常用	監視員	おぼれ	その他の乗物	岸壁において、石炭の運搬船接岸に伴う係留作業中、被災者がヒープラインを拾おうとした際、よろめいて海中に転落した。
H21	冷凍船船倉内	58歳	日雇	船内作業	はさまれ、巻き込まれ	天井クレーン	冷凍船の船倉で、天井ホイストクレーンで荷(冷凍鯨、約14.5t)をハッチ口まで移動する作業中、被災者がはい付けされたひな壇状の荷の上に乗る、上の荷を降ろす作業を始めた際、走行してきた天井ホイストクレーンのチェーンカバーとはい積みされた荷との間にはさまれた。
R5	本船船倉内	20歳	常用	運転見習者	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積み込み用機械	被災者は、ブル・ドーザーで船倉内を移動中、山状になった飼料を乗り越えた際、操縦席から落下し、そのまま無人の当該ブル・ドーザーにひかれた。
H22	本船船倉内	60歳	常用	船内作業	はさまれ、巻き込まれ	ローダー	石炭揚げ荷役終了後、船倉内から荷役に使用したショベルローダーを陸揚げするため、同僚とともにショベルローダーの玉掛作業中、被災者がバケットのセンターアームと車体にはさまれた。
R5	ふ頭内ハース	53歳	常用	トレーラー運転者	激突	トラック	被災者は、ふ頭内でコンテナを積んだトレーラーを運転中、丁字路で右折する際、曲がり切れず、正面の柱やフェンスに横転しながら激突した。
R4	コンテナ船内	52歳	常用	船内作業	飛来、落下	玉掛用具	船上からフラットコンテナ(19.8t)にトレーラーシャーシ(約16.2t)を積載した荷をガントリークレーンで移動させていたところ、荷を吊っていたワイヤの先端が外れ3点吊りになったことにより、トレーラーシャーシが落下し、被災者に当たった。
H22	本船船倉内	45歳	常用	船内作業指揮者	墜落	はしご等	鉱石をばら積みした本船内で荷降ろし作業中、被災者がクレーン運転者に無線連絡後、ハッチ蓋(高さ約3.4m)からガントリークレーンのはしごを下りる際、墜落した。
R2	コンテナ船内	29歳	常用	ラッシャー	墜落、転落	通路	コンテナ船内のコンテナをガントリークレーンで地上に降ろす作業中、コンテナ上に残ったスタッカーを回収しようとしていた被災者がステージから約5.2m下の本船デッキに墜落した(推定)。